

地方創生について問う

期待できる政策展開と評価



小野 光夫 議員

ると同時に自治体の責任が重たくなったと認識している。

創生総合戦略で、危機を克服できるか

小野議員

地方創生については、東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけるための、交付金付きの国策である。本町にとっても、課題の一つだが町長の所見を問う。

自治体の知恵と工夫が試される

町長

少子高齢化や人口流出など、極めて厳しい状況にあり、新たな展望を開くものとして共感、期待できる政策展開であると評価はしているが、自治体の知恵と工夫が試され

創生取り組み、明るい展望が開けるよう努める。

地方版総合戦略の策定は

小野議員

創生会議で本町がやがて消滅すると明示され、二〇四〇年総人口七、五九一人で四九九人と、厳しい数値が示された。歯止めをかけられるのか。

あらゆる政策で、結果がでるよう努める

町長

人口減少や超高齢化という本町の直面する課題の克服に向けて、若者の雇用の確保や、移住支援などの人口減少対策に地域の潜在力や魅力を角度を見つめ直し、危機感を持ち全力を挙げて、地方

地域コミュニティが崩壊しつつある今日、限界集落回避の策を進める必要がある。その中、今年度中に地方版総合戦略を策定しなければならぬが、どのようなビジョンを持って策定されるのか。

地域の特色や、地域資源を生かしたい

町長

国は、今後5ヶ年の目標や施策を取りまとめた総合戦略を義務と掲げている。大崎町地方創生推進本部を設置し、幅広い年齢層からなる住民等で構成する推進組織を立ち上げ、広く関係者の意見

変化がある

町長

が反映される仕組みを構築していく。国の総合戦略基本目標の、仕事づくり、人の流れ、結婚、出産、子育て、まちづくりを、重点に策定し地域の特色や地域資源を生かしたい。

野方地域の状況は

小野議員

鹿屋までの高速道路が開通、野方IC設置や道の駅あらかさのもオープンした結果、どのような地域変化があるか。

ストロー現象がおこりつつあるのでは

小野議員

現在すべてが完成し町民の一人として感謝している。賑わいが一過性のものであつてはならない。現在、国道は通行量が減り商店街は厳しくなつたと聞かどうか。

確かにある

町長

新しい道路ができると確かに、利便性を考え、人の流れは変わると思う。医療、通勤、通学に便利になり、道の駅に降り、買物もされる。今後、逆に、どういう風に我が町に誘導していくか考えなければならぬ。

野方地域のビジョンを早急に策定すべき

小野議員

有明高校跡地はスポーツ合宿拠点施設で菱田地区は、これから期待される。大崎地区に於いてはPFI方式住宅が計画され、子育て世帯が期待される。野方地域は、中学校が閉校され、企業誘致も早急に期待できないので、中学校跡地を利用した地域活性化ビジョンを早急に策定する必要がある。

施策と振興策で望む

町長

一点目は、企業誘致対策であり、交通便利性の向上により、まちづくりの土台が築けた。関係機関と連携した企業誘致活動を積極的に行う。二点目は、共生、協働の取り組みで、県の地域コミュニティ重点推進モデル事業に指定されているので28年度まで地域づくり計画を策定する。

